

はらはちぶ

第91号

発行日平成20年1月1日

新年のご挨拶

皆様 明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、平成20年の新春をさわやかにお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年は、当院には本当に激動の1年となりました。増改築工事の終了・竣工式など、対外的にも皆様に色々と御協力、御支援を頂きました。また、それに伴い、新しい装置の導入、新棟での診療など、職員にとりましても、新しい環境に馴染むまでは大変な苦勞をかけ、努力をしてもらったことになりました。常日頃から、このような力に支えられ今の当院があるものと思っております。そんな皆さんと新しい年と一緒に迎えられることを本当に嬉しく感じております。

さて近年の医療情勢を見ますと、高齢化の急激な進展、医療制度改革、地域格差が社会問題となり、そのあおりを医療機関が受けております。全国の多くの病院で医師不足が叫ばれ、日常の診療や救急医療にも大きな打撃を与えており、必然的に一般市民の皆様にも御迷惑をお掛けすることになっております。今後益々この問題は深刻化するのでは・・・と危惧しているところです。

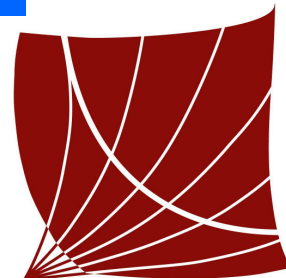
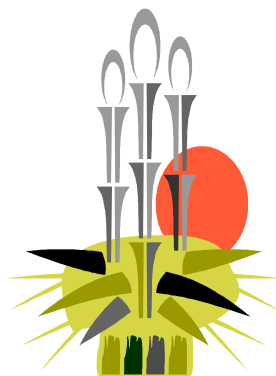
しかし、医療の主役は患者様です。医療法人敬愛会では、本質である“患者様に信頼される病院”を目指し、良質な医療の提供に努め、患者サービスのより一層の向上に心掛けて参ります。“敬愛会”の名前に恥じぬように、敬天愛人の精神を貫いて行きます。

今年は“子年”（ねずみとし）です。子年の“子”という漢字には、“一端終わってまた始まります”という深い意味があるそうです。この“子”のように諸問題が解決され、新しい医療環境が整備・構築されることを切に望んでおります。

本年度が皆様にとりましても、当院におきましても素晴らしい年となりますように祈願申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

本年も宜しく願い申し上げます。

院長 間嶋 孝



目次:

新年のご挨拶	1
習慣的に行える レクリエーションを 目指して	2
病院ご利用者様への アンケート結果の ご報告	3
正月の子供の遊び	4
編集後記	5

日本医療機能評価機構認定病院
救急指定病院

東近江敬愛病院

電話 0748(22)2222

FAX 0748(22)2221

[Http://www.keiaikai.or.jp/](http://www.keiaikai.or.jp/)

発行責任者：広報委員会

習慣的に行えるレクリエーションを目指して

B病棟（医療療養） 藤井美香 若竹奈津子

レクリエーションとは、一般的に『仕事や勉強などの疲れを癒やし、精神的・肉体的に新しい力を盛り返すための休養・娯楽』といわれています。そして、高齢者のレクリエーションは、『意欲の向上や対人関係の向上、気分転換を図ること』を目的としています。B病棟での長期入院の患者様は毎日規則的に過ごされることが多く、単調な生活で刺激が少ないため、ADL（日常生活動作）が低下し、QOL（生活の質）が向上しにくい現状がありました。

これまではB病棟のレクリエーションは、お楽しみ会や特定の患者様が参加する病棟外への散歩、ポスター作成などを行っていましたが、毎日の入院生活の中で、レクリエーションを行うことは出来ていませんでした。そこで患者様にアンケートを行った結果、回答できる方のほとんどの方が毎日レクリエーションを行うことを希望されていることが分かりました

アンケート調査の結果、複数回答にて『歌を歌う』が11名、『音楽鑑賞』が7名、『パズル』が3名、『絵画』が3名、『習字』が3名という結果であったため、『歌を歌う』に決定しました。

病棟レクリエーションとして昼食前に歌を歌うことで、患者様には笑顔が見られ、知っている歌には口ずさみ、部屋からあまり出てこられなかった患者様が歌を歌いに食堂に来られたりなど、昼前のレクリエーションに対し楽しみを持って参加されている方が多くおられました。また、昼食前に歌を歌いだしてから、普段返事程度の単語しか話されなかった患者様が、たくさん会話を交わしてくれるようになった、という職員からの意見もありました。

これは、毎日習慣的に曲を聴き、歌詞を見て歌を歌うなどの行為により、大脳皮質を刺激したことによって、プラスの変化があったのではないかと考えられます。また、毎日童謡を全員で歌ったり、昭和初期の代表的な歌謡曲を聴くことで、気分転換が図れたのではないかと考えられます。

音楽は人々の心を静穏化させ、情動的反応を引き起こすことによる癒しの効果や、身体活動を促進する効果があり、人々の健康の維持・増進に用いられてきたといわれていることから、今回の歌を歌うというレクリエーションは高齢者の患者様のレクリエーションに適していたと思われます。ほとんどの人が若い頃に歌っていたであろう童謡や、対象者の年齢に合わせた昭和の有名な歌謡曲を流すことは一種の回想療法の効果を持っています。そして気分転換を図るとともに、認知症を予防し、進行を防止する面を持っていると考えられます。

これからもこのレクリエーションを維持していきたいと思っています。



病院ご利用者様へのアンケート結果のご報告

サービス向上委員会 澤田瀬平

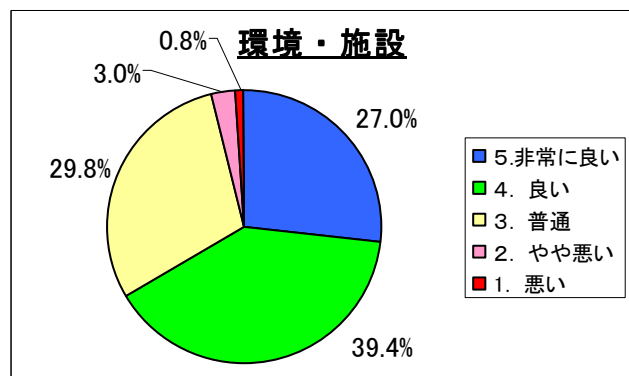
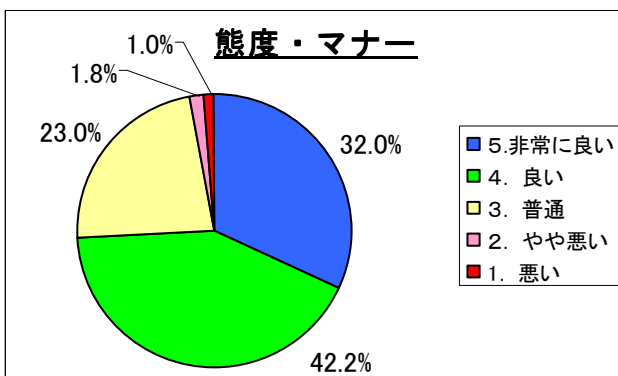
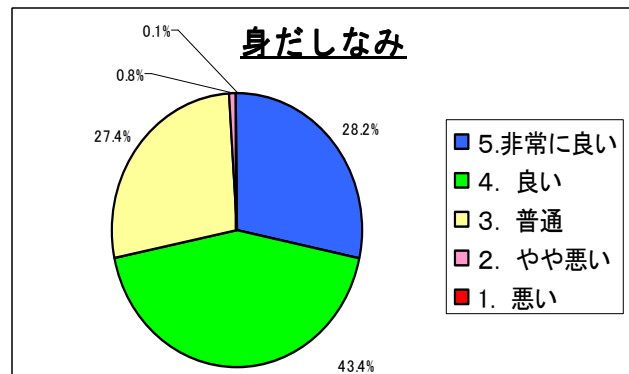
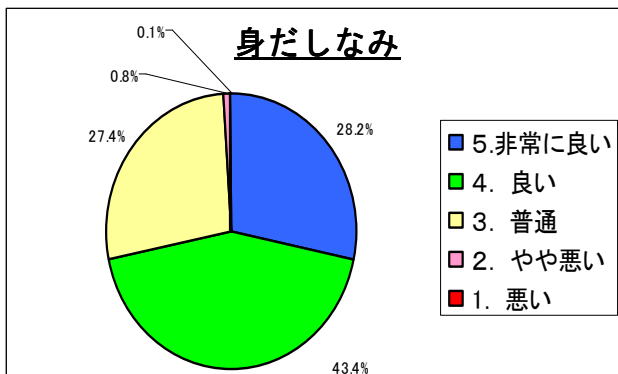
おかげさまで病院施設や医療機器などの設備も新しくなりました。これを機に今後一層医療の充実と、ご利用者様のご要望に応じた適切なサービスの向上に努めていくため、平成19年9月下旬から10月上旬にかけてアンケートを実施させていただきました。

ご協力いただきました利用者様に厚く御礼を申し上げますとともに、その概要をご報告申し上げます。

さて、アンケートの結果ですが、回収総枚数は456枚で、その内容は病院職員の『身だしなみ』、『挨拶・お辞儀』、『態度・マナー』及び『病院環境・施設』について5段階の評価で、各部門毎に実施させていただきました。

【 アンケート結果の集約 】

病 院 全 体	項 目	5. 非常に良い	4. 良い	3. 普通	2. やや悪い	1. 悪い
	身だしなみ	28.2%	43.4%	27.4%	0.8%	0.1%
	挨拶・お辞儀	31.7%	42.1%	24.6%	1.0%	0.5%
	態度・マナー	32.0%	42.2%	23.0%	1.8%	1.0%
	環境・施設	27.0%	39.4%	29.8%	3.0%	0.8%
	総 合 ・ 平 均	29.7%	41.7%	26.3%	1.7%	0.6%



上記グラフは各部門でいただきましたアンケートを集約したのですが、全体としては7割以上の方に、非常に良い及び良いという評価をいただき、一層サービス向上への意欲を高めております。

一方、ご利用者様の「生の声」をお聞かせいただきたく、「ご自由にお書き下さい」の欄を設け、多数の貴重なご意見をいただきました。

一般的には良い評価をいただきましたが、個々に検証いたしますと、スタッフの態度や看護技術等における未熟な一面や駐車場などの設備面での不十分なところなど多岐に亘りご指摘いただきました。

今後、当サービス向上委員会が中心となり、貴重なご意見1件1件について改善策を協議し、可能な限りご利用者様のご要望にお応え出来るよう努力してまいりますので、今後ともご支援いただきますようよろしくお願い申し上げます。

お正月の子供の遊び

子供達にとっては楽しみなお正月です。一昔前の子供のお正月遊びといえば、羽根つき・凧揚げ・かるた（百人一首）・福笑い・すごろく・めんこ・お手玉・コマまわし・けん玉・だるま落とし・・・などですか。現在の子供は、テレビゲーム中心ですね。なかなか凧揚げなどをする場所もないし、最近の日本は治安も悪くなり、外で遊ばせられない事情もあります。子供達は、コマまわしや凧揚げをやってみたいようですが、元気が有り余っている子供たちには少し可愛そうな気がします。

昔からのお正月の遊びには色々な“いわれ”があるようです。魔除けの意味で羽子板を飾ったり、親が子供に読み書きを教えるためにかるたをしたり。

昔からのお正月の遊びには子供の成長のための意味があります。それに比べてテレビゲームなどは、ゲーム上で人を簡単に殺せたり、人生をリセット出来たり、本当にこれでいいのかと思うようなものが少なくありません。また、一人でやるものが多く、親子で遊ぶことも無くなってきています。以前は当たり前であった、お父さんと子供と一緒に凧揚げをしている光景が、最近では珍しくて目を引くような光景になってしまいました。コマをまわせない子供も沢山居ます。

今の子供たちが親になった時、自分の子供たちにどのような遊びが教えられるのかが心配です。テレビゲームの中で、伝統の遊びをするようになっていくかもしれませんね・・・。

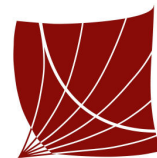
(文章：S)



編集後記

東近江敬愛病院

[Http://www.keiaikai.or.jp/](http://www.keiaikai.or.jp/)



皆様 新年明けましておめでとうございます。本年も“はらはちぶ”を宜しくお願い致します。新年を迎え、この“はらはちぶ”も少しリニューアル致しました。また、感想などを聞かせて戴ければ幸いです。《<@>》

昨年12月より、当院サービス向上委員会が中心となり「朝の挨拶運動」を展開して参りました。

～ 朝 出会ったすべての人に“おはようございます”と挨拶をしよう ～

という単純なものですが、私の主観では、以前から挨拶は出来ていたと思いますが、より一層の効果があつたのでは・・・と思っております。（少し 甘い評価かも・・・ [笑] ）

今後も患者様サービスの向上に努めて参りますので宜しくお願い致します。

(文章：H)